

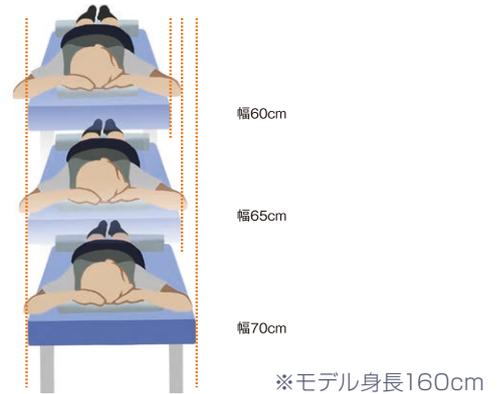
# 製品サイズと選び方

## 幅選びのポイント!

### 一般的な幅の基準

整体・カイロ系	50~60cm
マッサージ系	
鍼灸治療系	60~70cm
医科診察系	
リハビリ系	70cm以上

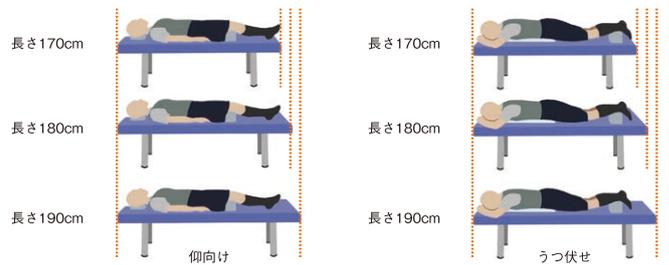
- ・うつ伏せや仰向けなどの施術方法により適切な幅のサイズが変わります。  
※患者様の腕の置き方(姿勢)によっても変動します。
- ・体位変換の頻度が高い場合は、少し広めの幅サイズが理想です。  
※幅70cm以上を推奨します。
- ・ベッドを設置する場所のスペースを考慮してサイズを検討してください。



## 長さ選びのポイント!

- ・長さ180cmのベッドの場合、身長170cmの患者様が仰向けの状態では余裕があり、うつ伏せの状態でも適度な長さです。(足首が底屈する為)
- ・利用するマクラやマットによって患者様の姿勢や位置が変わるので、注意して長さを選んでください。
- ・ベッドを設置する場所のスペースを考慮してサイズを検討してください。

※モデル身長160cm



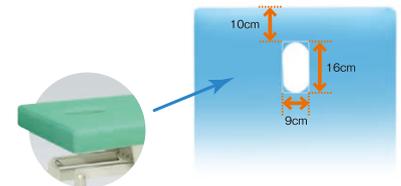
## 高さ選びのポイント!

- ・患者さんの身体の厚み、利用するマクラやマットの厚みを考慮して高さを選んでください。  
※思ったより高い理由でサイズ交換を希望される場合が多くあります。
- ・身近な机やテーブルなどでシミュレーション及びイメージして高さを選んでください。



## 有孔(ゆうこう)加工とは?

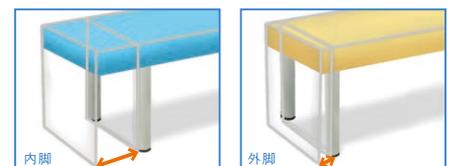
- ・うつ伏せでの施術時に患者様が呼吸を楽にする為の加工です。
- ・有孔部分に直接顔を当てるよりも、マクラやマットを利用すると圧迫感を大きく軽減することが可能です。  
※フェイスタオルなどで代用いただけます。  
※ご希望の有孔サイズへの特注加工(有料)も承ります。



## ベッド脚部の構造について

### ■内脚(うちあし)と外脚(そとあし)の違い

- ・内脚→脚が内側に付いているので、施術時の妨げになりにくい設計です。
- ・外脚→脚が外側に付いているので、ベッドの安定感を重視した設計です。



### ■1本脚とH型脚の違い

- ・1本脚→強度(等分布荷重)が300kgです。  
一般的なマッサージや整体などに対応します。
- ・H型脚→強度(等分布荷重)が400kgです。  
継続的な強い圧をかけるマッサージに対応します。

